わらびじゅく 笑楽日塾だより

２０２４年１月号
２０２４．１．３１
第７１号
発行：笑楽日塾

笑楽日塾はＳＤＧｓを応援します。

塾長あいさつ

荒井貞夫

お酒を飲めないお正月

　私は部落の寄り合いに親の代わりに出席して、中学３年生の頃からお酒を飲む機会があった。その俺が、今年のお正月にお酒を飲めなかった。
　昨年の12月から今年１月にかけて何があったろうか。いつもの年ならば、思い出せないかもしれない。しかし、今年は違う。忘れられないことがあったのだ。

　第一は、元日に発生した能登半島地震だ。半月経っても復旧の見通しが立たない。不自由な避難所で寒さをしのいでいる被災者、地震で亡くなった人たちの事を思うとお酒を飲んでも楽しくなれない。

　年の瀬になると気忙しくなるのは何故だろう。やり残したことはなかったかと自問しながら空回って焦ってしまう。11月28日に入院して、脱腸の手術、これが大失敗で12月５日まで病院にいた。
　「手術は簡単で、研修医が最初にやる仕事が脱腸の手術だ。2～3日で退院できる」と紹介してくれた横田先生から聞いていたので、蕨市立病院から退院したらいろいろやれば良いと思っていた。しかし、全く予想外な事が起きてしまった。入院が長引いて退院出来たのは12月５日だった。

これは偉いことになってしまったと焦った。入院中にベッドの上で、今すぐ手配しなければならない事を考えていた。

16 日にはマンションのクリスマスパーティがある。会場づくり、バンド演奏や子ども達の踊りの後、踊り子や参加した子ども達全員へのクリスマスプレゼント、参加者への福引き景品、テレビ会社がパーティの模様を撮影に来る、バンド演奏の人たちが楽器を車 2 台で運んでくる。地下駐車場に 3 台分の駐車スペースを確保する。クリニック、薬局、カラオケ店などにスポンサーになって頂いて景品を寄付して貰う。夜はみんなで懇親パーティをやる。

飲み物、オードブル、お寿司、果物を手配し、当日車でそれらを受取に行って貰う、そのほかにも色々準備、手配することがある。そのようなことを入院中に手書きで、手順書、マニュアルを書き出していた。5 日に退院して、まだ痛みも腫れも、出血もある中で、一斉に手配した。本当に忙しかった。みんなに助けられてクリスマスパーティも無事に終わった。

昨年は予想外の年の暮れになってしまったが、何か楽しい事を考えたい。「余祝」という言葉がある。予め祝っておくと、その言葉が実現すると言うものである。問題山積の今だからこそ、ポジティブに「明けましておめでとう」と言って、明るい年を迎えたい。
そんなことを昨年の暮れに考えていた。

さて、現実はどうなったか。
年末に仕入れた幸せの素「年末ジャンボ宝くじ」は外れた。外れた方が向こう一年事故に遭わずに済むだろうと前向きに受け取った。
そうだ、**今年は ATM だ。**何年か前にもそんな言葉を使ったが。
A(明るく)、T(楽しく)、M(前向きに)。去年の脱腸手術の失敗も「病院選び、医者選びは慎重にせよ」という教訓だったと　前向きに受け止めれば、何処にもぶつけられない恨みやストレスを堪忍袋の奥深くしまい込んでおけるかもしれない。

2024 年の一月が無事に済んで、血腫や痛みが消えて、筋トレやゴルフが復活出来ればこれからの 1 年が明るいものになる。去年 11 月 28 日に脱腸の手術失敗以来、入院や通院で多くの時間を失った。休んでいたこの期間中に筋肉も落ちたし、ゴルフの感覚も鈍ったことだろう。その怒りを、ストレスを何処かへをぶつける前に、堪忍袋に入れてきつくヒモで結んで自己制御して、精神的に一回り大きな自分を実現するために、この試練を乗り切っていきたい。

今年は：

1. 1 月 23 日、10 月 28 日に川口で 150 分（2 時間半・鉄道関連）の講演会をやらねばならない。
2. 2 月から蕨戸田衛生センター組合の「一般廃棄物処理基本計画策定委員会」が始まる
3. 7 月は 13 日～14 日に「わらてつまつり 2024」を開催する。
4. 今年の町会イベントは盆踊り、餅つき大会が復活するかもしれない。
5. 10 月には元気な 85 歳で、もう一度 Age Shoot を達成したい。

そのためにも、一日も早く筋トレ、ゴルフ練習を再開したい。

1 月 1 日に発生した能登半島地震（1 月 14 日現在で死者 221 人、避難者 2 万人、孤立状態 15 地区で 490 人、住宅被害 12,000 棟、断水 55,000 戸）、1 月 2 日には羽田空港での JAL 便の炎上など全く予想できない、いつ起きるか分からない地震災害や事故が振りかかってくる。1 年間の事を考えて、先々の事を準備して、失敗のないように注意しても自分ではどうにもならない事もあるから、失敗を恐れずに、この一年を乗り切っていきたい。

もう少し経ったら地震災害復旧も進んで、失敗した医者への恨みも消えて、ざわざわした心が落ち着いて、ゆっくりと酒を飲めるようになるかもしれない。早くその日が来ることを願っている。

（2024 年 1 月 15 日に記す）

笑楽日塾1月 塾会報告

期 日 2024年1月11日 17時30分～20時10分
会 場 ベルハイツ第２蕨 集会室
出席者 八木、清藤、内田、先崎、吉田、新井斉、星、南、荒井 ９名
欠席者 菊地、新井邦夫、高木、荒川

今年最初の塾会・新年会を開催しました。
会場はスポーツクラブ NAS 蕨5階のロイヤルルームが急遽使用出来なくなり、内田さんへお願いして、ベルハイツ第２蕨・集会室で開催しました。
吉田さん・先崎さん・南さん・八木さんにお願いして 4 時 45 分に NAS へ集合し、マルエツへ寿司、コロッケ、春巻き、おつまみ(アーモンド・ピーナッツ、チーズ)、柿の種、ビール・日本酒、ドライゼロを買いだししていただきました。
南さんからワイン２本の差し入れがありました。
菊地さんへは、奥様が電話に出られたので、「今夜の会場変更と 8 月分、12 月分の会費と含めて合計 4,500 円ご持参いただくようにお願いして」ご了解を得ていましたが、菊地さんは来られませんでした。
新井邦夫さんはご家族の看病などで急遽欠席となりました(1月13日(土)に吉田さんが新井邦夫さんから会費分 1,500 円を預かり、会計・先崎さんへ納入されました)

今年は初めに災害や事故など大変な出来事が続きました。
能登半島地震の被災者・避難者を観ていると傍観しているだけでは申し訳無い、
これが身近に起こったら、私は何をすれば良いだろうか。
みんなが力を合わせて大変な状況を乗り越えられるだろうか など心配事ばかりです。
塾会の冒頭に能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、30 秒間黙祷。
年末年始をどのように過ごされたか、今年の抱負などについて、塾生に語って頂いた。

【吉田さん】
今年も女房を大切にしたい。15 年前頃、女房がベトナムで帯状疱疹に罹った。ハイフォンに滞在していたが完璧な治療を受けられず、薬も満足出来るものではなかった。日本ならば良い薬があって完治出来るのだが、女房はその後遺症が残って、肩から背中に掛けて痛みがあって、今も通院治療中なので、労ってあげたい。＊八木さん、新井斉さんも帯状疱疹に罹った事がある。
新年は船橋と亀戸にいる息子家族と都内の中華料理で会食した。2 時間飲み放題で、
@3,500 円でカオヤー(北京ダック)が売りだったが、なかなかそれがでてこなくて督促したら、やっと時間切れの10分前に持ってきたので、こりゃ何だと大笑いした。

【内田さん】

わらび市民ネット忘年会(松祥)で飲みすぎて、自転車に乗れず、歩いて転がしながら帰宅した。
正月は 3 年ぶりに実家(上尾)へ行った。母は 90 代で耳が不自由。帰りに大宮の本屋で「コロナウイルスの不都合な真実」を買った。それによると、
安全性が確認できないまま mRNA ワクチンが出てしまった。このmRNA は DNA を書き換えることがあるので、次の世代に悪性で遺伝する心配がある。ファイザーはサリドマイド製剤作った会社で、奇形児が生まれてしまった。これから DNA が変形して奇形児が生まれるような危険もはらんでいる。ワクチンを打った人の中には血管に血栓ができた人もいる。
＊内田さんから DNA と RNA の働き、その違い、RNA ワクチンの大きな副作用について配付資料を基にお話があった。

【八木さん】

10 月～12 月は超多忙でフリーな日は 2 日間しかなかった。
今日は国立西洋美術館へ行った。月に一度は美術館へ行きたい。何処かに出かけて酒もビールもほどほどに楽しみたい。或る本に拠ると、老人には散歩が良い。日差しを浴びて 7 時間寝る。今日の塾会のように気楽に飲んで騒いで当たり前の日々を送りたい。
今を大切に、楽しくやっていくことを目標にしたい。

【星さん】

暮れは大掃除をした。
元日は地震で、新潟に兄がいるが、液状化で困っているようだった。
正月明けの 4 日からマンション管理の仕事が始まった。年末年始に溜まっていたゴミ処理が大変な作業だった。戦争状態だった。もう辞めようかと思ったぐらい大変だった。ナントかやりきった。来週火曜日がゴミ出しの日。分別仕分けしない住民がいる。
今年の抱負を語る余裕がないが、この仕事を続けていくつもりだ。

【清藤さん】

仕事で「神職」をしている。 12 月 31 日は年越し祭があった。
正月は神社(お稲荷さん)で 9 時から 15 時 30 分まで参詣者のお祓いをしていた。
もう一つ別な仕事をやっている。川口で駐輪場の管理をしている。
今夜のように皆さんの豊富な経験談を聞けるのが嬉しい。この歳まで良く生きてきたと思う。
今年も家内安全で良い年である事を願っている。

【先崎さん】

12 月 27 日北町公民館で新井邦夫さんに手伝って貰って「万華鏡作り」をやった。参加者は北小の子ども達が多かった。北小の子ども達は中央小の子ども達よりもおとなしいと感じた。
年末に初滑りに行った。指導者の資格持つ二人に教えて貰ったが体が上手くついて行けなかった。これからもスキーと卓球は続けていきたい。
元職場の人とも楽しく付き合っている。二子玉川の街歩きをした。五島美術館を見たいと思って行ったが、正月は休館だった。

正月は兄弟姉妹で集まったが、飲める派と俺のように飲めない派がいた。みんなで麻雀のようなゲームでお金を掛けて楽しんだ。

【新井斉さん】

12 月 28 日欅で作った神棚を飾った。29 日飾りは縁起が良くないという謂われがあるので。30 日はお袋のお墓参り。31 日深夜から三学院～和楽備神社へ初詣した。

3 日は神田明神へ親子 3 人で行った。そこで甘酒を飲んでから秋葉原から上野経由で浅草へ出た。浅草は半分以上が外国人だった。「ときわ」で昼飯にカツ丼を食べた。これが我が家の毎年の恒例行事となっている。

能登半島地震で倒れた7階建てビルは新耐震基準で設計されていた。杭から基礎が抜けてしまったらしい。地下に打ち込んだ杭の先端の鉄筋を広げて、上物基礎とコンクリートで一体化するが、そのような工事がされていなかったようだ。

【南さん】

正月は高校ラグビーを楽しんだ。決勝で 8 対 5 の得点で非常に少ない点にびっくりした。
2012 年に退職してからずーと二人でいる。現役の時は家を空けてばかりだったが、今は二人きりで、二人で出かけて日々の生活を楽しんでいる。

去年は京都で紅葉を楽しんだ。今年は何処へ行こうか考えると楽しい。

【荒井から】

塾生の皆さんのお話・展望をお聞きしていると静かで楽しい日々が見えてきます。
私は、2023 年は 1 月から 11 月までテレビ出演、蕨駅開業 130 周年記念事業、インドネシア旅行、ゴルフで Age Shoot 達成など本当に充実したよい年でした。このまま 12 月も終わるかと思っていた矢先に脱腸（鼠径部ヘルニア）手術で失敗、未だに全快していない。運が悪かった。

今年 2024 年、は 1 日に和楽備神社に初詣して「破魔矢」を買って健康祈願した。良いことがあるように願っている。

今年の元日の新聞 3 誌で取り上げていた注目記事は人口減少問題だった。2040 年には 8 割社会がやってくると。人生 100 年時代と謂われているが 2040 年に私は 100 歳だ。それまであと 16 年しかない。その日までピンピンしていたい。足腰の筋肉を鍛えるというよりも現状を維持していければ良い。

幸せな老後とは何か

私にとっては、豊かな人間関係こそが、晩年を幸せなものにする決め手だと思う。
周りの人を助けようとして生きていれば周囲の人に慕われ、良い人間関係が続く。
信頼できる交友関係があれば晩年を活き活きと過ごすせる、その一つが笑楽日塾のメンバーだ。
最後はこの俺が回りに対して何をしてきたかだ。
他者に優しく出来れば自分も幸せだと感じる時がある。
そうすれば大きな満足感を得られる。
年を取って優しくなるということは、老後に幸せになる一番の近道だろう。
あと 16 年を「他者に優しく、ピンピンと」を目標にしたい。

1 月 23 日川口で 2 時間半の講演をする。講演の中でエルドラド（蕨市と姉妹提携しているカルフォルニアの町）が出てくる。エルドラドのゴールドヒルの丘に眠る「おけいさんのお墓」の資料を探した。塾だよりか何かに書いた記憶があった。「笑楽日塾の事件簿」に写真入りで見つかった。講演の最後に 64 年前に芝園団地から蕨駅へ向かって新幹線電車が仮台車に乗って走って行った引き込み線を案内する。今も蕨駅の近くまでその線路と枕木が残っている。

今年は笑楽日塾記念誌・第 6 号を 4 月に発行する。いま八木さんが編集に取り組んでおられる。

塾会の最後に「市立病院建設の不都合な真実」について議論が沸騰した。
「俺が知らないうちに、なんでこんなことが決まってしまったのか」
「なんであんな町外れの不便なところに建てるのか」。
2023 年 5 月市長選挙では「市立病院移転・建設」は争点になっていなかった。
その理由は何処にどうやって移転建設するのか、有権者が分かりやすい説明を両候補とも説明できなかったからだ。その背景は適切な場所がなかったからだ。

私（荒井）は 13 年前に日本車両が社宅と独身寮跡地を 22 億円で売り出した。私は市長へ「この敷地が蕨で使える最後の土地だ。これを買って、市民病院、市役所、市民会館、体育館などの建設に充てるべきだ。順繰りにローテーションしていけば、古くなったインフラを更新建設できる。直ぐに買うべきだ」と建白書を提出した。しかし、市長は「17 億円しか出せない」と購入しなかった。ゼロ金利時代なのに借金して買うことを決断できなかった。

市長は広報蕨 1 月号で「市長就任以来、蕨市の借金は 73 億円削減し、財政基金は 67 億円増額し、合わせて約 140 億円の財政改善を行う事が出来ました」と 20 年間の成果を強調されている。しかし、行政の経営者としては 20 年先、30 年先を考えて土地を確保しておくべきなのに、金利ゼロ、マイナス金利の時代にさえも、将来を見据えた蕨市の青写真を描けず、「市民へのあったか市政」を強調してばかりで、借金を減らすことに一生懸命だった。13 年前に日車の跡地を購入しておけば全てが順調にいったのに。

市長ばかりを責めるのではない。その時の市議会、今の市議会も何もしなかったのだ。
対立候補も例えば、「一時的に市民公園にプレハブの病院施設を建設し、今の北町と同じ場所に病院を建設する。市民公園はその後新たに整備する」ような市民が理解出来そうな提案も出来なかった。市役所の建て替えをみれば、分かるはずだ。プレハブの市役所を建設して乗り切ったではないか。

「市立病院整備検討審議会委員」の募集は 1 月13日（土）までです。
そして第一回会議が1月17日（水）です。手続き、開催案内発送などの時間から逆算しても、
全て決まっていて、デキレース　ということが分かります。

この問題が急に浮上してきたのは、「2023 年 10 月に錦町の病院経営者が廃業することになり、その土地 300 坪を蕨市に寄贈する事になった。蕨市はこの土地へ西公民館と松原会館を移転し、その跡地に病院を建設することにした」からである。何故、そんなに急いでいるのか、2027 年 5 月の市長選挙の目玉にしようとしているのだろうと噂されている。松原会館は 2 年前に耐震化工事をやったばかりなんだ。全くの無駄金ではないか。

今夜は最後に「市立病院移転・建設」に関して塾生の意見が沸騰した。こういう場がある事が、笑楽日塾の大いなる存在感を示していて良いのではないか。

次回塾会： 2 月 1 日(木)です。17 時 30 分から NAS で開催します。

本日の会計報告

買い物(食事分など)3, 218 円＋飲み物・おつまみなど 9, 502 円＝12, 720 円

追記

令和 5 年度の総会は 4 月 11 日(NAS)、
監査会は 4 月 4 日(WNS)10 時にお願い致します。

「シニアの風」

（順番制で行います。2月号は高木　輝雄さんですので準備の程、宜しくお願い致します。）

「古希を迎えて振り返り思う事」　　塾生　新井　斉

私は、入間郡福原村大字今福字今福下東明寺分 1434-5 番地の自宅にて 1955 年（昭和 30 年）3 月 7 日に生まれました。当時は自宅での出産が当たり前の時代でした。川越市は昭和 30 年 4 月 1 日に周辺 9 村と合併しましたので旧村生まれの最後の世代です。紆余曲折と遠回りしてきましたが、満 69 歳になります。古希を迎えるまで未だ 1 年弱の執行猶予がありますが、数え歳では 70 歳ですから古希を迎えたことになりますね。昨年末ですが小学校・中学校の同窓生から「古希を迎えて同窓会」の開催を予定している旨の予告通知が届きました。考えてみれば大多数の同窓生は今年、満年齢では古希を迎えます。新年を迎えて改めて古希を考えてみました。「古希・古稀の由来は、唐代の詩人・杜甫（とほ）がよんだ七言律詩『曲江（きょくこう）』にあります。その詩の一節には「人生七十古来稀（じんせいしちじゅうこらいまれなり）」とあり、「人生を 70 歳まで生きるのは非常に稀（まれ）なこと」という意味です。」「稀」が常用漢字ではないため、現在は「古希」と書くのが一般的です。今でこそ「人生百年時代に向けて」と、100 歳まで寿命が伸びる可能性が視野に入っていますが、例えば第二次世界大戦から 2 年後の 1947 年（昭和 22）の日本の平均寿命は、男性で 50.06 歳、女性で 53.96 歳です。ましてや唐の時代（618～907 年）の中国においても 70 歳を迎えるのは本当に滅多にないことだったでしょうね。

写真は、昭和四十二年三月の六年三組の卒業記念の 1 枚です。

セピア色が昭和時代の雰囲気を醸し出しています。校舎は木造 2 階建てで、戦後に新築され、私の父が大工として携わっていました。撮影場所は定石の二宮金次郎像の前です。同級生の服装、学校給食の小母さん（当時は、学校毎に自前の給食場で炊事して生徒に提供していました。私の地域は畑作農家が多いので野菜等は農協から提供されていました。）の割烹着姿、先生の服装（礼服？）や、其々の畏まった表情から今以上に卒業記念の写真撮影が大切な学校行事だったことが垣間見れます。

小学校六年生に進級した時に新卒の先生が赴任してきました。今迄、自分の母親や親戚の伯母さんとしか交わりが無かった、少々大人しいが早熟な子供の目には女神の様で先生の前に行くと「ドキドキ感、シドロモドロ状態、赤面、」そして何よりも母親には無い「とても心地よい香り」が漂ってきて夢心地感に漂っていた想いがあり小学校を卒業すると会えなくなる悲しさと悔しさがありました。

4 月になり隣合わせの中学校に進学すると担任の先生は父親の釣り仲間で「最悪だあ～」の思いが脳裏に浮かびました。中学 3 年間はこの先生の下で過ごしました。私にとって良きも悪しきも影響を受けた恩師でした。大学に進学する時、挨拶に伺った際に「新井ぃ～大学は勉強する処じゃない、社会に出たときのために自分を磨くために何をすべきか考える 4 年間だ。優秀な成績を残すと思うな、一生の仲間を作れ」と祝辞なのか！激励なのか！暗示なのか！理解不能でしたが、然し妙に説得力がありました。

その恩師も 10 年後には鬼籍の人となりました。小学校で惜別した憧れの先生は、なんと私達と一緒に中学校の国語教師として編入してきました。その先生と中学の廊下でバッタリ会った時に「新井君、貴方は本が好きだから、図書委員会の委員になってね」と微笑みながら握手を求めてきました。その時「俺は先生に一生ついて行きます」と心に決め中学 3 年間は図書委員会の委員として委員長として過ごすことができました「楽しかったぁ～。」それも中学を卒業後に憧れの先生も同僚の理科担任の先生と結婚したと聞いた時は、ガッカリ落胆した事を思い出しました。

今思うとそれが私の淡い初恋とその幕引きなのかなぁ～と古希を迎える独り言です。私の人生の終演は未だ先です。
馬上少年過　世平白髪多　残躯天所赦　不楽是如何　と生きて往きたい。
＊追伸です。写真から「小学 6 年生の私」と「憧れの先生」を探してください。

完

編集後記

八木　守

　笑楽日塾も6周年を迎えました。

荒井塾長のもとで塾生の皆様が協調性をもって続けて来た結果だと思います。

そして、2024年（令和6年）は 60 年に一度のスタートの年だそうです。

　毎年、年の瀬になると多くの人達が「来年こそ良い年にしたい！」と願ったと思います。

しかし、思っているだけでは願いは叶いませんね。

　大事なのは2024年がどんな年になるのか少し調べてみました。

　東洋の占いで見ると、2024 年は 60 年に一度のスタートの年と言われ、大きな変化がある年になるそうです。その変化に順応して行動し、波に乗れるかどうかで、次の 60 年が決まると言っても過言ではないと言っています。（私の60年後は存在していない（笑い））

　また、2024年の開運フードのキーワードは、「体を整える」「龍神様」だそうです。

　変化を乗り越えていくには、健康であることも重要です。健やかな体づくりは食から。野菜全般や、体の熱量を上げてくれる辛いもの、また上へ上へと成長する樹木のように細長くて硬いもの、自然由来のものがよいと言われています。緑色や茶色の食材も開運フードです。

　また、軽やかに動けるよう太りすぎは禁物。腸内環境を整える発酵食品などもよいですね。

私は、お正月から3Kg 太ってしまいました。！　運動をしなければ。

　以上、2024年（令和6年）も塾生の皆さん、元気で健康で明るい平和な毎日がすごせるように祈念しましょう。

（少し、欲張りなような気もしますが？）

完